

赤潮・貧酸素情報（７）

平成２７年５月２６日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

５月２５～２６日に有害プランクトン調査を行った結果、
蓑島漁港内で有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの赤
潮が確認されています。

＜有害プランクトンの状況＞

- 蓑島漁港内でカレニア・ミキモトイの赤潮（表層で海水 1m
| 中に 1,710 細胞、底層で 21,600 細胞）が認められ、港
内では着色（くらいきみどり）が認められます。
- カレニア・ミキモトイは、数～数千細胞で魚介類に被害を
及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に 5 m 層前後）で増殖する性
質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色
が判別しにくい種類です。
- 本種は、昨年同時期に発生しており、コウイカ等への悪影
響が懸念されております。

＜貧酸素の状況＞

- 苅田港入口付近で貧酸素（底層酸素濃度：25.8%）が発生
しています。
- 酸素濃度は、およそ 30% 以下で魚介類に影響を及ぼし、
10% 以下でへい死する恐れがあります。

＜今後の状況＞

- 晴天が続いた場合、赤潮の発生や継続、その後、貧酸素の
発生や継続の恐れがあります。
- ４月から引き続き本種の増殖が確認されています。また、
本調査より貧酸素の発生も確認されています。魚介類への
影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に
十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（097
9-82-2151、担当：俵積田、野副）までご連絡下さい。

5/26調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	溶存酸素 (%)	カニア・ミキトイ (細胞数/海水1 ml)
①	柄杓田漁港	0	20.8	31.82	97.7	46
		B-1	20.3	31.18	83.2	192
②	恒見漁港	0	19.7	29.95	96.3	2
		B-1	20.0	31.48	84.1	22
③	苅田港入口	0	22.34	31.56	108.2	5
		B-1	20.2	31.59	25.8	19
④	苅田本港	0	22.9	31.20	120.5	0
		B-1	22.2	31.34	79.7	0
⑤	苅田南港	0	21.3	31.44	102.9	1
		5	20.2	31.57	81.4	0
		B-1	20.2	31.64	77.5	0
⑥	蓑島漁港	0	22.4	30.39	113.8	1,710
		B-1	22.0	30.56	118.0	21,600
⑦	宇島漁港	0	22.8	31.21	109.7	0
		B-1	22.7	31.31	113.9	1
⑧	吉富漁港	0	25.2	28.35	103.8	0
		B-1	24.1	30.61	108.4	0

